

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-12-02
事務事業名	市営バス運行事業	根拠法令・要綱等	備前市営バス運行事業に関する条例
事業開始年度	昭和61年	問合せ先	企画課
大項目	全て快適に暮らせるまちづくり	担当課(室)	企画課
中項目	生活しやすいまちづくり	職・氏名	企画政策係長・田原義大
小項目	公共交通	電話	0869-64-1871

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	交通弱者(学生、高齢者、マイカーを持たない人)、吉永和意谷・三国地域の沿線地域住民
目的(何のために)	通学・通院・買物等のために移動する手段の確保
行政活動(どのような方法で)	和意谷線(13.2Km)と三国東西線(13.2Km)市の所有するバスで運行している。運転業務を日生運輸㈱に委託し、運行に係る維持経費は市が負担している。スクール利用は無料(平成21年3月末まで) 三国東西線は教育委員会が費用負担している。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	生活交通手段の確保し、市民に利用してもらおう。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
系統数	系統	2	2	2
運行回数(年間)	回	5,260	5,260	5,260
運行委託料	円	5,212,200	5,099,850	3,608,640
車両管理費用	円	0	0	1,127,949
利用者数(年間)	人	-	-	8,966
運行距離(年間)	km	-	-	71,288
活動実績				
直接事業費	千円	5,213	5,100	4,737
人件費	千円	4,705	4,440	1,076
事業費計		9,918	9,540	5,813
財源				
国県支出金	千円	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	175
市一般財源		9,918	9,540	5,638
必要人員	人	0.45	0.45	0.11
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
系統数	説明	路線系統数		
結果指標量	系統	2	2	2
対前年比	%	-	100.0%	100.0%
活動コスト	円	9,918,000	9,540,000	5,638,000
単位当たりコスト	円	4,959,000	4,770,000	2,819,000
結果指標				
結果指標	説明			
運行回数	回	5,260	5,260	5,260
結果指標量	回	5,260	5,260	5,260
対前年比	%	-	100.0%	100.0%
活動コスト	円	9,918,000	9,540,000	5,813,000
単位当たりコスト	円	1,886	1,814	1,105

事業の成果			
成果指標名	年間利用者数	式又は説明	実態調査及び売上等による推計値(スクール利用は除く)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	2,800	2,400	2,200
		85.71%	91.67%
到達目標値	2,200	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	高齢者を中心とした対象者は減少傾向にあり利用者も減少しているが、交通弱者(児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人など)にとっては、バスは欠かせない交通手段であり、民間路線のない過疎地において公共交通としてバスを運行維持することは妥当である。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率的性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	利用者が少なく、コストの効率化が難しいが、昨年より、これまで無料だった高齢者にも利用料を徴収している。運行経費の削減についての検討や、現状のバスが適切かどうか、代替手段はないかなどの検討が必要である。維持管理費については、燃料費の高騰により経費が拡大してきている。	
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A-E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	利用者が少なく、コストの効率化が難しいが、昨年より、これまで無料だった高齢者にも利用料を徴収している。運行経費の削減についての検討や、現状のバスが適切かどうか、代替手段はないかなどの検討が必要である。維持管理費については、燃料費の高騰により経費が拡大してきている。	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	有効性の評価	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手続	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	交通弱者にとっての移動手段としては有効である。	
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している	有効性の評価	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	有効性評価<A-E>	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	C	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	有効性の評価	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	交通弱者にとっての移動手段としては有効である。	
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	引続き運行を維持しながら、経費面の削減を行う。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	2	結果指標量	5,260
成果指標量	2,200		

総合評価		評価区分<A-E>	C
この路線は、交通弱者にとって欠かせない交通手段であり、対象者・利用者が少なくとも運行維持は必要である。平成19年6月より無料対象者制度を廃止し、スクール利用以外は100円均一料金としている。スクール以外の運行ではバスの小型化が可能であり、経費削減のためにスクール利用との切り離し方法について検討を要す。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	乗合タクシーの導入等体系の見直しを検討する。	平成20年度	利便性を低下させることなく、事業経費の削減を行う。